

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.1

【令和5年3月31日時点】

団体名		公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団				所管部室（課）名		健康医療部健康まちづくり室			
所在地		〒564-0072		吹田市出口町19番2号							
設立年月日		平成3年3月31日			代表者職・氏名		理事長 三谷 一裕				
基本財産		217,000,000円		①本市出資金（本市の出資割合）		円（ %）					
				②本市出捐金（本市の出捐割合）		200,000,000円（92.1%）					
設立目的	「健康づくり都市」を宣言する吹田市との連携のもとに、市民の自主的な健康づくりの実践活動を促進し、支援することにより市民の健康増進に寄与することを目的とする。										
事業内容	(1) 運動、栄養、休養の均衡のとれた生活習慣の形成を目的とした安全で科学的根拠に基づく健康づくりの実践指導 (2) 健康づくり指導者の育成及び健康づくりの地域推進組織の育成、支援 (3) 市民向け健康情報紙の発行、各種パンフレットの発行、配布などによる健康づくりの啓発、普及 (4) 市民参加による健康づくりイベントの開催 (5) その他事業団の目的を達成するために必要な事業				（具体的な事業内容）						
					1 みんなの健康展の開催	2 レディース健康フェスティバルの実施	3 吹田市民健康づくりフェスティバルの実施	(1) チャレンジDAY	(2) てくてくウォーク&ノルディック		
					4 各種教室・講演会等の開催	5 健康まちづくり支援事業	6 健康情報紙「健康すいた」の発行 など				
		合計（市職員及び元市職員以外も含む。）						合計（元市職員以外も含む。）			
				うち市職員				うち元市職員			
役員数（人）	理事 （取締役）	常勤	1	0	1	職員数（人）	常勤	1	0		
		非常勤	14	3	0		再任用（※1） 常時勤務	0	0		
	監事 （監査役）	常勤	0	0	0		再任用（※1） 短時間勤務	0	0		
		非常勤	2	1	0		非常勤	4	0		
65歳以上の役員数（※2） （人）		7	/	/	1	65歳以上の職員数 （※2）	臨時 雇用員	1	/		
評議員 （人）		15	1	2	0		0				
元市職員に対する報酬や給与水準が、市再任用職員の水準を上回る。（いずれかに○）						該当 ・ 非該当					
【該当する場合のみ記載】内容											
元市職員に対して退職金を支給している。（いずれかに○）						該当 ・ 非該当					
【該当する場合のみ記載】内容						特定退職金共済制度（掛金3,000円/月）					

※1 再任用職員とは、60歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている職員をいう。

※2 65歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている役員数又は職員数。

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.2

【令和4年度決算】

団体名		公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団		所管部室(課)名		
				健康医療部健康まちづくり室		
財務状況(円)	損益計算書	総収入	36,211,461	貸借対照表	資産の部合計	236,765,911
		(うち市受入金)	30,203,139		負債の部合計	7,070,277
		(その他)	6,008,322		(うち有利子負債)	0
		総費用	36,102,391		正味財産合計	229,695,634
		経常損益	109,070		(うち一般正味財産)	29,695,634
		当期損益	109,070			
市から団体への支出(円)	主要内容、算出根拠等					
	フロー	補助金	30,203,139			
		委託料	0			
		指定管理料	0			
		その他	0			
		計	30,203,139			
	ストック	貸付金残高	0			
		債務保証残高	0			
		損失補償残高	0			
		出資金(出損金)	200,000,000	平成3年設立時出損		
		その他	0			
		計	200,000,000			

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.3

【評価対象期間: 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康医療部健康まちづくり室

1 団体による評価

(1) 運営に関する評価

◎→できている ○→概ねできている
 △→一部できている ×→できていない

指針の項目	評価項目	評価	評価の理由
組織及び人事管理	規程等を適切に整備している。	◎	組織及び人事管理については、効率的な執行体制の下、規程整備や人事管理等を適切に行っているが、役員数については今後検討していく必要がある。職員の研修に関しては、Web公益法人協会定例会へ参加するとともに、産学官民連携に関する会議やセミナー、また他市で開催される健康づくり事業に参加し、当事業団の事業や今後の取り組みに生かしていく。
	団体の事業規模に応じた簡素で効率的な執行体制としている。	◎	
	団体の事業規模や経営状況に応じた役員数及び職員数としている。	○	
	採用における公正性・透明性を確保している。	◎	
	団体の経営状況に応じた役員報酬や職員給与としている。	◎	
	職員研修の充実に努めている。	○	
事業運営	事業の必要性や意義を見直しつつ、効果的、効率的な事業運営を行っている。	△	イベント等では、医療・福祉・体育関係団体だけではなく、企業・大学・NPO等の協力を得て様々な観点から健康啓発ができてきているものの、経済性の観点から効果的、効率的な事業運営ができるよう規模や方法等の見直しが必要である。
	事業を継続的に点検し、市民ニーズに沿ったものとしている。	○	
財務管理	中・長期的な経営計画を策定している。	△	適切な財務管理ができており、収支も概ね健全である。昨年度は受託事業による自主財源を確保したものの継続性はなく、自主財源の確保を含めた中長期的な経営計画については、今後検討していく必要がある。
	自主財源の確保に努めている。	○	
	各種経費を可能な限り抑制している。	◎	
	最も確実かつ有利な方法で財産の管理運用を行っている。	◎	
	外部の専門家による監査を活用するなど監査体制の強化に努めている。	◎	
情報公開	団体の経営状況、事業計画を公開している。	◎	経営状況、事業計画、役員名簿、議事録をホームページ上で公開している。事業の周知については、ホームページ、ポスター、チラシ等で随時情報を発信している。
	団体の役員名簿、会議録等を公開している。	◎	
	ホームページをはじめとする多様な手段で情報提供を行っている。	◎	
	個人情報保護に関する措置を適正に講じている。	◎	

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.4

【評価対象期間:令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康医療部健康まちづくり室

(2) 事業に関する評価

ア 指標による評価

事業名	活動指標	令和4年度目標	令和4年度実績	(参考) 令和3年度実績
	成果指標			
健康まちづくり支援事業	取組回数	8回	5回	7回
	講習会等への参加者数	150人	174人	130人
チャレンジDAY	参画団体数	12団体	12団体	11団体
	イベントへの参加者数(延べ人数)	7,700人	7,504人	7,047人
レディース健康フェスティバル	実施回数	年1回	年1回	年1回
	参加人数	1,000人	1,963人	903人

イ 指標で示すのが困難な場合

事業名	活動内容	成果内容
ウォーキング会員事業	いつまでも歩き続けることができるよう、足腰に負担のない歩き方、歩くために必要な筋力、バランス力等について学び、自分で一年間の目標を定めてウォーキングを中心とした健康づくりに取り組む。年度初めに、ウォーキングナビで足にかかる負担度、歩幅、速度を測定し自分の状態を知る。	登録者数は約200人。令和2年度までは200万歩達成を目標とする事業だったため歩数を増やすことを目的に歩いていた方が、意識した歩き方、筋力トレーニング、ストレッチなど、歩き続けるために必要な運動についてしっかり理解し、自主的に一年間取り組んでいる。

(3) 今後の取組方針

※(1)において◎以外とした事項、課題となっている事項について重点的に記載

自主財源の確保に努め、赤字額の低減を図っているが、市民の主体的な健康づくりを支援する公益目的事業を中心に実施しているため、結果として赤字となっている。これまで、無料でおこなっていた自主事業の有料化や、新たな賛助会員の獲得に努めるなどしているが、中・長期的な経営視点によるさらなる事業の再編や構成などについて検討しながら、安定した組織運営を目指して取り組む必要がある。

令和4年度は、医療・福祉・体育関係団体に加え、企業や大学、また地域事業者やNPO団体等の協力を得ながら健康啓発を行うことで、地域住民の健康づくりや健康を意識したまちづくりを実施した。また、全市的に住民主体の健康づくりの取組を展開できるよう、取組を進めている。更に、健都における産学官民連携の取組の一部を担い、各種産学官協議や打合せ、各種関連講演会等に参加することで、実証事業の実現に貢献することができた。

今後も、事業者や団体等の連携により地域での健康づくりが実践されるよう、人・場・情報をつなぐコーディネートを行い、全市的に展開できるよう継続して取り組むとともに、既存事業を活用しつつ、イベント実施ではなく市民が生涯活躍できる場を創出することに重点を置いた事業へ見直しを行う必要がある。

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.5

【評価対象期間: 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団	所管部室(課)名
		健康医療部健康まちづくり室

◎→できている ○→概ねできている
 △→一部できている ×→できていない

2 市による評価

(1) 団体の運営に関する評価

事項	評価項目	評価	評価の理由
団体の存在意義	市民福祉の向上に資する事業を行っている。	◎	当該団体は、設立趣旨として「健康づくり都市宣言」を踏まえた市民の健康づくりの振興を掲げており、本市が推進する「一人ひとりの主体的な健康づくり」に貢献しているため。
	事業の成果が市の施策の推進に貢献している。	○	
事業実施主体としての妥当性	市が直営で行うよりも効果的かつ効率的にサービスを提供している。	○	30年以上地域団体とともに健康づくりに取り組んでおり、また、民間企業との連携や、暮らしに身近な場を活用して啓発を行っているため。
	多くの市民の理解が得られる活動を行っている。	○	

(2) 団体の自己評価に対する市の見解

組織については、団体の事業運営に際して必要最小限の人員となっており、職員の退職に伴い新規採用職員の募集を公募により行う等、人事管理は適切に行われている。しかし、給与等に関して、60歳以上で採用された職員について、月例の給与等は本市の再任用職員等と比べて高くはないが、外郭団体のあり方に関する指針において「退職手当不支給とすること」とされているにも関わらず、退職金に相当する制度があることから、当該指針を踏まえた対応を検討する必要がある。

事業運営については、団体の設立以降、市民に長らく親しまれる健康づくりの啓発イベントを実施しているが、既存事業の課題を整理したうえで、評価・検証を行い、さらに企業との連携に努めつつ、再構築を行うなど適切に運営がなされている。特に、令和4年度は、健都における産学官民連携の取組の一部を担うなど、市が進める事業との連携も図りつつ、地域住民の健康づくりや健康を意識したまちづくりに最大限努力したものと考えている。

今後はより効果的かつ効率的な事業実施に向けて、引き続き検討を進めるとともに、実施する事業の多くが市の補助金を財源としていることを鑑み、補助金を財源としない自主的な事業についても積極的に実施できるよう取組を進めていく必要がある。

その他、財務状況は健全であり、情報公開についても適切に行われている。

(3) 市の関与に関する今後の方向性

本市では市民の主体的な健康づくりを支援するため、各種保健事業の実践、展開をしているが、今後さらなる健康寿命の延伸をめざすためには、市民一人ひとりの自主的かつ継続的な健康づくりの取組を促進する必要がある。

市民の健康増進に寄与する事業を実施するとともに、今後健都で創出される新たな知見・サービスを各地域で享受されるよう、地域における人・場・情報をつなぎ、住民主体の健康づくりの実践に向けた支援を行うことが重要である。

当該団体は、本市の出捐金を基に設立され、本市から補助金の交付を受けつつ、市民の健康づくりを推進するための事業を実施する団体であることから、特に補助金を活用して実施する事業については、市の健康づくり施策に関する方向性等を定期的に協議できる場を設定し、認識を共有をした上で、公益的な事業を展開していく必要がある。

今後は、当該団体が、国・府・市の健康づくりの動向について引き続き十分把握するとともに、地域住民が主体となり、民間企業や関係機関と連携のもと、健康づくりの取組に実践できるよう、協議を行う。